

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公表番号】特表2011-500073(P2011-500073A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-530432(P2010-530432)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 61 P	25/00	(2006.01)
A 61 K	38/21	(2006.01)
C 07 K	14/565	(2006.01)
C 07 K	16/00	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	A
A 61 P	25/00	
A 61 K	37/66	F
C 07 K	14/565	Z N A
C 07 K	16/00	
C 07 K	19/00	
C 12 N	5/00	1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2つのサブユニットを含む突然変異IgG Fcドメインと融合した单一IFN-ベータ(singl e IFN- beta)を含むタンパク質であり、第一のサブユニットがIFN-ベータタンパク質と連結していない突然変異IgG Fc腕部を含み、第二のサブユニットが单一IFN-ベータタンパク質と連結した突然変異IgG Fc腕部を含み、該第一のサブユニットが、配列番号3の配列からなり、該第二のサブユニットが、配列番号8の配列からなる、前記タンパク質。

【請求項2】

請求項1に記載のタンパク質をコードするポリヌクレオチド。

【請求項3】

配列番号4の配列若しくは配列番号9の配列を含み、又はこれらの配列からなる、請求項2に記載のポリヌクレオチド。

【請求項4】

配列番号12の配列を含み、又はこの配列からなる、請求項2に記載のポリヌクレオチド。

【請求項5】

請求項2~4のいずれかに記載のポリヌクレオチドを含む発現ベクター。

【請求項 6】

請求項5に記載のベクターを用いて形質転換した宿主細胞。

【請求項 7】

C H O 細胞である、請求項6に記載の宿主細胞。

【請求項 8】

請求項1に記載のタンパク質を含む医薬組成物。

【請求項 9】

医薬として使用される請求項8に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

多発性硬化症治療用の医薬を調製するための、請求項9に記載の医薬組成物の使用。

【請求項 11】

請求項1に記載のタンパク質の製造方法であって、請求項6又は7のいずれかに記載の宿主細胞の培養、及び前記タンパク質の単離を含む方法。